

視察等報告（復命）書

三次市議会議長 様

報告者氏名 穴戸 稔

下記のとおり、研修が終了したので報告します。

会派代表者氏名 穴戸 稔

経理責任者氏名 山田真一郎

期 間	令和4年7月30日～31日
用 務 先	庄原市 ラフォーレ庄原
用 務	第6回中山間地域諸課題解決セミナー 「自治体議会の政策制御」 ～市民にとって議会とは何ものなのか～ 講師 土山希美枝 法政大学教授
概要及び所見 (目的、参考にすべき事項、提言、活用対策)	<p>概要</p> <ol style="list-style-type: none">議会の役割は自治体の政策・制度を開かれた場で議論と議決により市民にとって良い状態にすること。自分のまちの政策・制度は議会があるから良い状態であると市民から評価を得る必要がある。自治体が「良い状態」であるように信託された権限を使って制御する政策主体としての議会。一般質問という仕組みの意味を考える 自治体議会による自治体の「制御」 一般質問は、議員が自分の活動と知見を集約し、政策・制度の争点を提起し、監査・提案する。一般質問が制御の仕組みとしてその機能が十分に発揮されていない。一般質問が機能を発揮できていない背景・構造の課題を具体的に分析する。政策議会の「成果」とは何か。議会で成果を出すとはどういうことなのか。議会と市民との関係の再構築を考える。

<p>概要及び所見 （目的、参考にすべき事項、提言、活用対策）</p>	<p>所見 議会として確認しておくべき事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 自治体の政策・制度が市民にとって良きものかチェックしているか。必要な提案がなされているか、なされていない場合の提案が議会として積極的に行われているか。 2 市民に政策・制度がわかりやすく伝えられているか。市民に成果を示されているか。 3 一般質問は政策提案を監視・提案できる機会であるが、十分に活用されているか。 一般質問で、数字的なものの確認だけ、論点が多すぎる、個別すぎる、根拠、論拠のないもの、市が関知できない質問、議員の政治信条の演説などは見られないか。 一般質問は十分な事前調査を行い、事実と根拠に基づいて論理立てて行うこと。 4 最終的に行政に任せておけば大丈夫という幻想と忖度があってはならない。
---	--

視察・研修報告（復命）書

三次市議会議長 様

報告者氏名 保 実 治

下記のとおり、視察・研修が終了したので報告します。

会派代表者氏名 宍 戸 稔

経理責任者氏名 山 田 真 一 郎

期 間	R4年7月30日() ~ R4年7月31日()
用 務 先	※6回中山間地域の諸課題解決セミナー 会場：庄原市 ラ・フォーレ庄原
用 務	「自治体議会の政策制御」 (市民にとって議会とはなにものか) 講演と資力研修
概要及び所見 (目的, 参考にするべき事項, 提言, 活用策等)	<p>※講師：土山 希美枝 (法政大学教授)</p> <p>※概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 議会の役目は自治体の政策 ○ 一般質問とゆうきくみの意見を答える ○ 一般質問が機能していない ○ 政策議会の「成果」とは何か ○ 議会と市民の関係の再構築 <p>◎ 質問は攻めるだけでなく柔軟に対応した方がいい。</p>

視察・研修報告（復命）書

三次市議会議長 様

報告者氏名 山村 恵美子

下記の通り、視察・研修が終了したので報告します。

会派代表者氏名 宍戸 稔

経理責任者氏名 山田 真一郎

期 間	令和4年7月30日～7月31日
用 務 先	第6回中山間地域の諸課題解決セミナー 会場：庄原市 ラフォーレ庄原
用 務	「自治体議会の政策制御」サブタイトル 【市民にとって議会とはなにか】 講演と質問力研修
概要及び所見 （目的、参考にするべき事項、提言、活用対策）	<p>「自治体の政策制御」 【市民にとって議会とはなにか】 講師：土山 希美枝（法政大学教授）</p> <p>概要 1議会の役目は自治体の政策・制度を開かれた場で議論と決断（議決）により市民にとってよい状態にすること。 わがまちの政策・制度は議会がいるからよい状態であると市民からの評価を得る必要がある。 自治体（政策・制度）が「よい状態」であるように信託された権限を使って制御する、政策主体としての議会→「政策議会」 2一般質問というシクミの意味を考える：自治体議会による自治体（政策・制御）の「制御」 一般質問は、議員が自分の活動と知見を集約し、政策・制度の争点を提起し、監査・提案できる機会。 3①しかし十分に活かされていない。制御の仕組みとして十分機能發揮できない一般質問について考える。 ②一般質問が機能していない背景・構造の課題を具体的に分析する。 4政策議会の「成果」とは何か。 5議会で「成果」を出すとは。 6議会と市民の関係の再構築を考える。</p> <p>所見 ・まちの政策・制度が市民にとって良きものかチェックできているか。必要な提案がなされているか、なされない場合の提案を積極的に議会として進めているか。 ・市民にわかりやすく伝えているか。市民に成果を示すことが議会に求められる。政策議会として一般質問が正しく機能しているか実際の参加者の質問を使い、講師の評価を聞いた。 ・一般質問は政策・提案を監査・提案できる機会であるので、十分に活かされなくてはならないが、 ・数字確認だけ・論点が多すぎる・個別すぎる・根拠・論拠のないもの・市が関知できない質問・議員の政治信条の演説・一問一答を続けるうち混乱してしまった質問があり、一般質問として機能を果たさないものになっていることを具体的に指摘していただいた。 ・最終的に行政に任せておけば大丈夫という幻想と付度を超えなければならぬ。</p>

- | | |
|--|--|
| | <ul style="list-style-type: none">・常に成果を共有して市民に見える化し、監査機能と提案ができる議会へ成長しなければ市民の気持ちは 離れるばかり。・自治体に対する議会の直接、間接の制御を働かせること。・成果を出すには、わがまちの課題の提起を的確に行う。 |
|--|--|

会派名 **清友会**
議員名 **重信好範**

研修会・報告会等実施報告書

研修会・報告会等を実施しましたので、下記のとおり報告します。

記

日 時	令和 4 年 7 月 30 日(土)～ 令和 4 年 7 月 31 日(日)
場 所	庄原市 桜花の郷 ラ・フォーレ庄原
参加者	戸稔, 保実治, 山村恵美子, 山田真一郎, 竹原孝剛, 新田真一, 藤岡一弘, 掛田勝彦, 増田誠宏, 中原秀樹, 重信好範
内 容	第 6 回中山間地域の諸課題解決セミナーに参加し, 法政大学の 土山希美枝先生の自治体議会の政策制御の講演や議会での一般質問 における質問力の研修を受けた。またグループワーク等で自治体議 員との交流もできました。
備 考	

案内文・開催要項・チラシ等を添付してください。

会場借上料	円	冷暖房費	円
		食糧費 (飲物・菓子代)	円
附属設備等使用料	円		円

視察等報告（復命）書

三次市議会議長 様

報告者氏名 山田 真一郎

下記のとおり、視察が終了したので報告します。

	会派代表者	宍戸 稔	経理責任者	山田 真一郎
視 察 議 員	山田 真一郎			
期 間	2022年 7月 30日（土）～2022年 7月 31日（日）			
視 察 先	ラ・フォーレ庄原			
視 察 用 務	第6回中山間地域の諸課題解決セミナー			
視察先対応者	中山間地域の諸課題解決セミナー実行委員会			
概要及び所見	<ul style="list-style-type: none"> ・自治体議会の政策制御（講演） 土山 希美枝（法政大学法学部教授） <ol style="list-style-type: none"> 1. 自治体と政策議会 2. 自治体議会による自治体（政策・制度）の制御 3. 「制御」のしくみとしての機能 4. 政策議会の成果としての自治体（政策・制度）の制御 5. 議会で、どこで、どうやって「成果」を出すか？ 6. 市民との関係の再構築のために ・政策議会の一般質問（機能する一般質問を考える） <ol style="list-style-type: none"> 1. 一般質問の論点を構造化する 2. 論点の「事実」を固めるための情報収集 3. 一般質問の「問いただしかた」を考える 4. 一般質問を「評価する」ために 5. 一般質問を評価してみよう 			

・質問力向上研修

1. グループワーク

①失敗例のプレゼン

②グループディスカッション

2. 総括

行政と議会の関係や議会のありかたを法令等を含め「しくみ」として
知ることができました。

また、同じ中山間地域の他市町の議員さんとのグループワークでは、
同規模自治体の現状などの情報交換もでき有意義なものでした。

今後の一般質問等で、活かしていけそうです。